

お知らせ

平成26年8月
独立行政法人 防災科学技術研究所

大型降雨実験施設公開（豪雨体験）について

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、8月27日（水）に大型降雨実験施設を公開します。

つくば本所の大型降雨実験施設では、既存の降雨システム（最大降雨：200 mm/時間 雨滴の大きさ：2.2 mm程度）を改良し、近年発生件数が増えているゲリラ豪雨の特徴である短時間での強い降雨（300 mm/時間）と雨滴の大きさ（6 mm程度）を再現することを可能にしました。

今回の公開では、この豪雨（300 mm/時間）を体験することができます。豪雨の怖さを実感し、防災に役立てて頂ければと考えており、どなたでもご参加頂けます。

なお、参加希望の方は、雨具のご準備をお願い致します。防災科学技術研究所では雨具の貸し出しは行いません。

1. 日時：平成26年8月27日（水）13：30 受付開始
（公開終了後30分程度プレスの撮影時間を設ける予定）
2. 場所：茨城県つくば市天王台3-1
防災科学技術研究所（つくば）内大型降雨実験施設
3. 対象：地域住民の皆様、プレス等興味のある方はどなたでも参加可能

1. 大型降雨実験施設

今回公開を行う大型降雨実験施設は、豪雨を原因とする自然災害の防止・軽減を目的として昭和49年に運用を開始しました。自然の降雨状態を再現する降雨装置としては世界最大級の規模です。この大型降雨実験施設を利用して、大型模型斜面を用いた土砂災害軽減研究、土壌浸食に関する研究、降雨中のレーザーレーダの減衰機構の研究など、基礎から応用研究までを幅広く進めてまいりました。



施設は、5つの実験区画と移動降雨装置、ポンプ制御棟、貯水槽から構成されています。昨年度改修工事を行い、現在は、散水面積44m×72m、降雨強度は1時間に15～300mm、雨滴粒径0.1～6mm、雨滴落下高16mという規模・能力となっております。

2. 過去の豪雨体験の様子



3. 公開日時

平成26年8月27日（水）

13:30 受付開始（大型降雨実験施設）

14:00 公開開始（大型降雨実験施設）

14:00、14:30、15:00 から各15分間300mm/時間の雨を降らせる予定

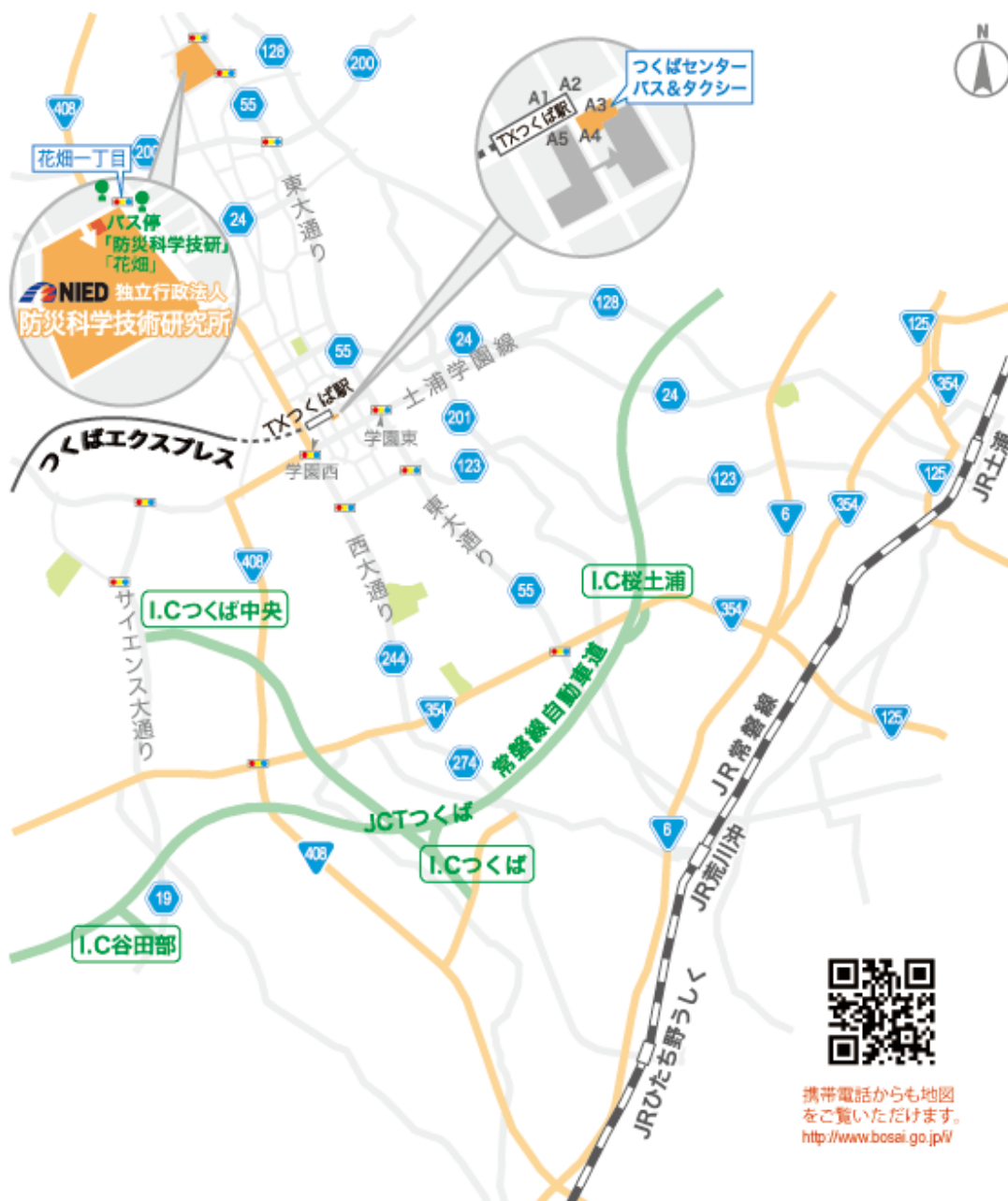
15:15 公開終了（大型降雨実験施設）

（公開終了後30分程度プレスの撮影時間を設ける予定。300mm/時間を含め強度の異なる降雨を計画）

4. 場 所

〒305-0006 茨城県つくば市天王台 3-1

防災科学技術研究所 大型降雨実験施設



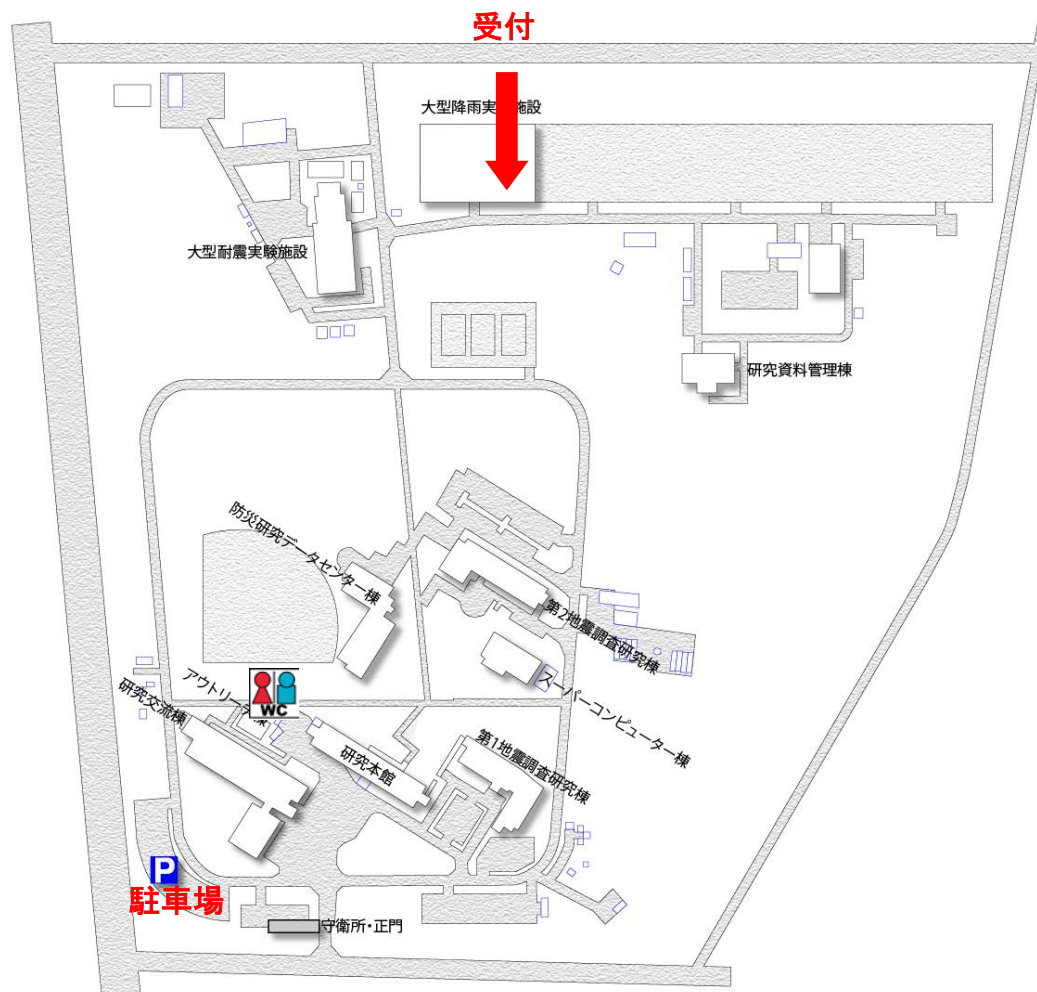
詳しくは以下をご参照ください。

<http://www.bosai.go.jp/introduction/project/location/location01.html>

5. 当日の駐車場・受付場所のご案内

車でお越しの方：駐車場に駐車後、歩いて大型降雨実験施設までお越しください。

公共交通機関でお越しの方：そのまま大型降雨実験施設までお越しください。
なお、当日の状況により駐車場の場所が変更となる可能性があります。



トイレはアウトリーチ棟をご利用下さい。公開施設と離れているのでご注意ください

6. 参加登録（プレスの方のみ必要）

参加を希望されるプレスの方は、メールにより 2014 年 8 月 25 日（月）までに参加登録をお願い致します。折り返し確認のメールを送らせていただきます。

<申し込み>

メールアドレス：outreach@bosai.go.jp

<問い合わせ>

独立行政法人防災科学技術研究所 大石・三好 029-863-7784

独立行政法人 防災科学技術研究所

アウトリーチグループ 大石・三好 行き

(MAIL : outreach@bosai.go.jp)

ご回答用紙

お手数ながら 8 月 25 日（月）までにメール添付でご回答お願い申し上げます

件名：大型降雨実験施設一般公開（豪雨体験）

1. 御社名：

2. 御所属：

3. ふりがな 御名前：

4. 人 数：

5. 御連絡先：(TEL)

(FAX)

(e-mail)

6. その他
